



# 志茂田景樹

## いつだって、他人の言葉が自分を強くしてくれる

— 今、日本で一番人生相談を受けているのではないですか？

1日平均10くらい悩みに答えています。2010年にTwitterをはじめたとき、告知だけではないから、漠然と考えていること、たとえば昔の失恋を思い出して「ぶつ」と思い浮かんだこととか、失敗や挫折を振り返ったり、誰もが直

面する人生に関することを発信したところ、共感を得て、質問が届くようになりました。内容は誰もが考える当たり前のことだったんですが、みんな同じようなことは考えられなくて、書き留めたりせず、すぐに忘れてしまうから、誰かが文章にしたのを見ると納得したり、共感するんじゃないかな。正論とか、当たり前の

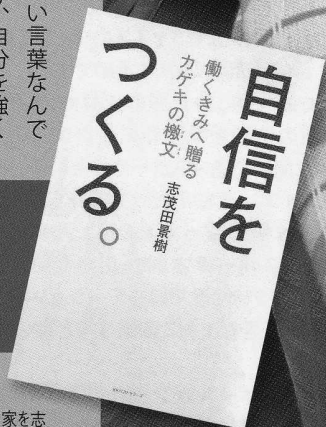
ことは、実は心に響くんですね。優しい言葉にあふれてますね。作家になる前は職を転々として、アウトローのような生活になりそうな時期もあったし、新人賞を受賞するまでに7年もかかってしまったり、平坦な道じゃなかった。でもその7年があったから直木賞につながり、作家として続けていくことができたと思ってるし、振り返ってみると、それまでにたくさん励ましたり、優しい言葉をかけてもらってきました。罵倒されたり、傷ついた言葉もあったけど、いい感じで心に尾を引

いている言葉は、優しい言葉なんですね。そういう言葉が、自分を強くしてくれたという思いがあります。

— 今後の目標は？

今の若い人たちは、物心ついたときから先が見えない世の中に生きていて、心のリズムを崩している人が多いですね。若い人たちの心を育てるためにも、高齢者だからこそ、その経験を通して伝えられることがあります。今後も読み聞かせやネットを通して、子どもたちや若い人たちを励まし続けます。それが世の中を変えていく力になると思っています。

**OH!!! MY BOOK!**  
VOL.49



『自信をつくる。働くきみへ贈るカゲキの檄文』  
KKベストセラーズ 1,050円(税込)

志茂田景樹氏直筆サイン入り『自信をつくる。働くきみへ贈るカゲキの檄文』を抽選で3名様にプレゼントします。

ご希望の方はP15掲載の応募要領にてご応募ください。

志茂田景樹 Kageki Shimoda

1940年、静岡県生まれ。中央大学法学部卒業後、さまざまな職を経て作家を志す。1976年、『やっこ探偵』で小説現代新人賞を受賞。40歳のとき、『黄色い牙』で直木賞を受賞。その後もミステリー、歴史、エッセイなど多彩な作品を発表。1998年より児童への絵本の読み聞かせ活動を行い、各地で公演する一方、絵本『つきどはくちょうこのこ』などの児童作品を発表。近著に『蒼翼の獅子たち』『人って、みな最初は石ころだもの』『きょうどまいく』など。2010年4月からは自身のTwitterアカウント(@kagekineko)を開発。人生の苦楽を噛みしめる言葉の数々が共感を呼び、多くの人に愛読されている。フォロワー数25万人超(2013年4月1日現在)。